

## 2 生徒に記述させる手順を明確にしましょう

次に示すのは、ある先生の指導案（一部）です。この指導案は、「話すこと・聞くこと」の指導に関するもので、「話す・聞く力を付けるために書くこと」を重視して計画されています。その具体的な手だてとして、実際に話すときのことを想定し、「生徒に記述させる手順」についての指導者の説明を、指導案の「教師の支援および指導上の留意点」に具体的な言葉で示しています（囲み ～ 参照）。

このように、どのような説明をすれば生徒が理解するか、実際の記述がうまく進められるかを、あらかじめ具体的な説明のプランとして考えておくことが大切です。

### 国語科学習指導案（略案）の例

#### 1 教材名 立場を決めて討論しよう

#### 2 指導計画と評価計画

時	ねらい	主な学習活動	評価の観点					評価規準と評価の方法
			関	話	書	読	言	
1	・討論の方法を理解する。	・教科書の説明を読んで討論の方法を知る。						・(関) 討論の仕方のポイントに線を引いたり、確認のため友人と話したりしている。[観察、ワークシート]
2 3	・自分の立場を確認し、討論の準備をする。	・論題、立場を決定する。 (5、6人グループ) ・立論を考え、まとめる。 ・予想される反論やそれに対する答えを考える。 ・相手の立論への反論を考える。 ・説得力のある話し方を考え、発表の練習をする。						・(関) 話し合いの中で、メンバーの発言を整理するなどして、グループの意見をまとめようとしている。[観察・発言] ・(話・聞) グループでの話し合いにおいて、自ら意見を述べたり、友人の意見に対する同意や反対の考えを述べたりしている。[観察、ワークシート]
4 本時 5 6	・根拠を明確にして、分かりやすく自分の意見を主張するとともに、相手の意見を尊重し、自分の考えを深める。	・討論を行う。 ・討論を振り返ったり、他のグループの討論を聞いたりして、振り返りカードをまとめる。						・(関) 順序立てて話すなどして、聞き手に分かりやすく話そうとしたり、相手の意見に質問するためメモをとろうとしていたりしている。[観察・ワークシート] ・(話・聞) 自分の意見の根拠を順序立てて話している。[観察・ワークシート] ・(言) クラス全員が聞き取れる音量や速さ、言葉遣いに気を付けて話している。[観察]

#### 3 本時の指導

(1) 目標 根拠を明確にして、分かりやすく自分の意見を主張するとともに、相手の意見を尊重し、自分の考えを深める。

#### (2) 評価規準

国語についての関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・聞き手に分かりやすく話そうとしたり、相手の主張を的確に聞き取るうとしたりしている。	・自分の主張を、根拠を順序立てて示すなどして、相手に分かりやすく話している。 ・相手の意見を聞き取って、自分の考えに生かそうとしている。	・速度や音量、言葉遣いに注意して話している。

(3) 展開

具体目標	学習活動	時間	教師の支援および指導上の留意点	評価																					
本時の学習内容と目標をつかむことができる。	1 本時の学習内容と目標を確認する。	2	今回は実際に討論ゲームに入っていきます。討論をする際に意識することを黒板に書いておきました。まず、話す時は根拠を明確にして分かりやすい話し方を意識すること。そして、人の意見を聞くときは、よく聞いて自分の考え方に反映させようとする。この二つを意識して討論にのぞんでください。 黒板に目標を掲示し、意識づけを図る。	(関心・意欲・態度) 聞き手に分かりやすく話そうとしたり、相手の主張を的確に聞き取るうとしていく。 (観察・ワークシート)																					
自分の意見をしっかりと記入することができる。	2 ワークシートに今回の論題についての自分の考えを記入する。	5	まずワークシートに今回の論題を記入しましょう。「終わったらその論題について、自分の考えはどちらの立場に当たるか書きましょう。また、なぜそのように考えるのか、その根拠をあげられるだけあげてみましょう。」 机間指導をして、書けていない生徒には助言をする。																						
意見を述べるときや聞くときの注意点について、意識を高めることができる。	3 評価用ワークシートで、討論のときおよび聞くときの注意点、評価の観点を確認する。	3	評価項目を各自読んでください。これらの項目について先生も評価をします。ポイントは大きく分けると三つです。一つ目は、しっかりと根拠に基づいた主張ができていたか、二つ目は相手の意見をしっかりと聞いたうえで反論できていたか、三つ目は聞き取りやすい話し方で話せていたか、です。 評価の観点を確認することで、発表するときや、聞くときの注意点を意識させる。	(話し合い・聞くこと) 自分の主張を相手に分かりやすく話している。 (観察) 相手の意見を聞き取って、自分の考えに生かそうとしている。 (観察・ワークシート)																					
自分の主張をしっかりと根拠をもとに分かりやすく話すことができる。	4 討論ゲームを行う。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>討論する班</th> <th>時間</th> <th>聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立論(各2分)</td> <td>4</td> <td>メモをとる。</td> </tr> <tr> <td>作戦タイム</td> <td>3</td> <td>評価カードを記入する。</td> </tr> <tr> <td>反対尋問(各3分)</td> <td>6</td> <td>メモをとる。</td> </tr> <tr> <td>自由論戦</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作戦タイム</td> <td>2</td> <td>評価カードを記入する。</td> </tr> <tr> <td>最終弁論(各1分)</td> <td>2</td> <td>メモをとる。</td> </tr> </tbody> </table>	討論する班	時間	聞き手	立論(各2分)	4	メモをとる。	作戦タイム	3	評価カードを記入する。	反対尋問(各3分)	6	メモをとる。	自由論戦	3		作戦タイム	2	評価カードを記入する。	最終弁論(各1分)	2	メモをとる。	20	あらかじめ討論ができる隊形をつくっておくようにする。 聞き手は真剣に討論を聞き、しっかりと要点をメモできるように指導する。 論戦では、互いの意見を述べる時間が平等になるように配慮する。 作戦タイムには教師が必要に応じて助言をするようにする。 発表者が意見につまるような場合は、適宜教師が助言をするようにする。	(言語事項) 速度や音量、言葉遣いに注意して話している。 (観察)
討論する班	時間	聞き手																							
立論(各2分)	4	メモをとる。																							
作戦タイム	3	評価カードを記入する。																							
反対尋問(各3分)	6	メモをとる。																							
自由論戦	3																								
作戦タイム	2	評価カードを記入する。																							
最終弁論(各1分)	2	メモをとる。																							
他人の意見をよく聞いて自分の意見を深めることができる。	5 今回の討論を通して、自分の考えがどう深まったかをワークシートに記入する。	10	最初に書いた自分の考え方が討論を通してどう変わったかを書いてみましょう。特に、自分では気付かなかったが、討論を通してでた、自分が納得できるような意見などを書いてみましょう。 教師は机間指導をし、書けていない生徒に助言をする。 討論を通して自分の考えがどう深まったかを書けるように指導する。																						
自分の活動を振り返り、反省することができる。	6 ワークシートに記入した内容を発表し合う。 7 自己評価を行う。	3 5	意見の深まりについてよく書けている生徒を指名するようにする。 自分の活動を客観的に振り返って評価できるように指示する。																						
本時を振り返り、次時の活動につなげようとするすることができる。	8 本時のまとめを聞く。	2	次時に討論をする班が、さらによい討論ができるようにポイントを再確認する。																						

ワンステップアップ

この指導案では、本時の具体目標の達成を目指して、次のような工夫が図られます。

- \* では「この二つを意識して」と、では「ポイントは大きく分けると三つです」というように、学習の留意点を数字で示すことで、生徒に明確に意識させようとしています。
- \* では「終わったら～しましょう」と、学習活動が早めに終わった生徒への指示もあらかじめしています。
- \* では「特に、～書いてみましょう」と、学習活動のポイントを強調しています。

このように、説明のプランを考えるに当たっては、「本時のねらい」を踏まえてどのような学習活動を展開すればいいのかについて、ポイントになることを明確にしておくことが大切です。